

アル・アクサ洪水第503日目：テルアビブでバスが爆発 | リヤドでミニ・アラブ・サミット

Palestine Chronicle, 2025年2月20日、脇浜義明訳 *脚注は訳注



パレスチナの抵抗勢力は、ハン・ユニスで4人のイスラエル人捕虜の遺体を赤十字に引き渡した。(Photo: video grab)

主要事項

*赤十字国際委員会はイスラエル人質の4遺体を受け取った。ハマスはイスラエルが意図的に4人を殺したとイスラエル政府を非難した。

*ネタニヤフ首相は初め人質遺体の受け取り儀式に出る計画であったが、後に取り消した。

最新情報

2月20日 11:12 pm (パレスチナ時間)

*チャンネル12：テルアビブ地区で爆発物が仕掛けられているのが見つかったので、ネタニヤフ首相は数時間以内に緊急治安会議を開く。

*チャンネル12：さらに他に別々の場所2か所で爆発物が仕掛けられているのが発見された。イスラエル放送局(カン)はテルアビブ地区南部のバト・ヤムで二発の爆弾が仕掛けられているのが発見され、テルアビブの軽量軌道電車の運航が中断されたと報道した。

*イスラエル警察報道官：警察報道官はバト・ヤムでバス3台が爆発したことを確認した。警察はバスに爆弾を仕掛けた犯人の捜査を行っていると言ったとメディアが伝えた。

2月20日 9:29 pm

*カン：米国情報筋によると、トランプ政権は2月中旬に第二段階の交渉に進展があることを期待している。

*イスラエル国大統領(CNN報道)：停戦合意の第二段階を行って人質の返還を成し遂げるべきだ。戦後はハマスがガザ統治をできないようにしなければならない。

*トランプの中東特使スティーヴン・ウィトコフ（ロイター電報道）：トランプのガザ計画は、パレスチナ人がガザに住みたいかそれとももっとよい場所に住みたいかの如何にかかっている。計画の目的はみんなの考え方を改めて、パレスチナ人に最良のすることだ。パレスチナ人の強制移住をするのではない。第二段階に関する話し合いではかなり進展があり、よい結果が出るであろう。イスラエルはレッドラインに直面している。ハマスのガザ統治を継続させたら解決が困難になるので、イスラエルは慎重に判断しなければならない。第二段階がうまくいけばガザ戦争が終わるであろう。停戦合意の第二段階は第一段階より厳しいが、成功するチャンスはある。

2月20日 6:58 pm

*パレスチナ・メディア：さきほどイスラエル軍がラマッラーとアル・ビレ行政区の町、トゥルムス・アイヤ、コバル、ブールハム、ビルゼイト、デイル・アブ・マシャアルを襲撃した。

*チャンネル14：イスラエル政府情報筋によれば、ネタニヤフ首相はガザの軍事行動をエスカレートさせるつもりで、停戦合意の第一段階が終了すれば戦争を再開する。ネタニヤフ政権は人質、特に生きている人質を取り返すために、第一段階を2週間延長することを検討している。たとえそのために釈放するパレスチナ人囚人が増えても。

2月20日 4:56 pm

*アクシオス：ネタニヤフ首相の長年の側近のロン・ダーマー戦略問題担当大臣がトランプ大統領の特使と会って、人質を含む第二段階について協議すると、イスラエル政府高官が発表した。

*パレスチナ情報筋：トゥルカレム中部でイスラエル軍用車がパレスチナ人の自動車と衝突した。医療筋がアル・ジャジーラに語ったところによると、この事故で二人が怪我をした。

2月20日 3:39 pm

*チャンネル14：イスラエルのギデオン・サール外務大臣は、ガザの完全非武装化などすべての戦争目的を必ず実現すると強調した。

*ガザ政府メディア・オフィス：ガザ政府メディア・オフィスは、赤十字社がパレスチナ人の遺体とイスラエル人人質の遺体を異なって扱う二重基準の件で、赤十字社を批判した。

*アル・ジャジーラ：パレスチナ人の若者がガザのシュジャイヤにある自宅がどうなっているを調べていたとき、イスラエル軍の撃たれて死亡した。

*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍は西岸地区トゥルカレムの東部地区から大破壊を残して撤退した。

*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍の擁護のもとで入植者がナブルスの北西にある考古学的遺跡のあるセバステアを襲撃した。

*SNS：活動家たちが、アル・カッサム旅団戦士が2023年10月7日にイスラエル兵から奪った武器を使ってイスラエル軍を攻撃している映像をネット配信した。

2月20日 11:21 am

*アル・ジャジーラ：イスラエル国会議員のメラヴ・コヘンが「ネタニヤフの政治的思惑のために何人のイスラエル人人質を死なせればよいのだ？」と質問した。

*アル・ジャジーラ：イスラエルのイツハク・ヘルツォグ大統領は人質4人の遺体の引き取りに関して、「我々が国家としての義務を十分果たさず、無事に人質を自宅に帰すことができなかったことを悔やむ」と述べた。

*ネタニヤフ首相府：首相事務所は人質の4遺体は法医学機関で検査を経てから遺族に連絡すると発表した。

*イスラエル軍：イスラエル軍は赤十字社から4人の遺体の棺桶を受け取ったことを確認した。赤十字社は遺体をハーン・ユーンのバニ・スヘイラの殉死者墓地でハマスから受け取っていた。

*アル・ジャジーラ：赤十字社はイスラエル人人質の4遺体を受け取った後車でハーン・ユーンを出た。

2月20日 10:32 am

*アル・ジャジーラ：赤十字社の車が人質の遺体を受け取るために指定の場所に着いた

*ハマス：ハマスは、軍事部門のカッサム旅団とレジスタンス・グループは遺体を手渡すとき、死者の尊厳を大切に、これは人質が生きているとき彼らの命を無視して無茶苦茶な攻撃をしたイスラエルと大違いであると、

説明した。ハマスは人質の命を守り、人間的に扱ったが、イスラエルは他の人質と同じように4人を殺害したと、強調した。またイスラエル政府が捕虜交換を妨害し、長引かせて、病弱の人質の命を縮めた責任があると述べた。またハマスはネタニヤフ首相が人質の死を利用して自分の政治責任を回避しようとしていると批判した。

*イスラエル軍ラジオ放送：人質4人の遺体はハーン・ユーニス東部、イスラエル軍がほぼ4か月間軍事行動を行った地域に置かれているらしい。

*チャンネル24：赤十字社がハーン・ユーニスに到着し、遺体引き取りの準備を始めた。

チャンネル12：ネタニヤフ首相は初め人質遺体の受け取り儀式に出る計画であったが、後に取り消した¹。—@PalestineChronicle)

*パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍が西岸地区サルフィットにある殉死者アンマール・オーデの家族の家を解体する光景を、地元の人とメディアが映像配信した。イスラエル軍はオーデがイスラエル内で「ホロン作戦」を行ったことへの処罰だとしている。「ホロン作戦」は今年の8月3日に行われ、入植者2人が死亡、3人が重傷を負った。

¹ 遺体引き渡し会場に「戦争犯罪者ネタニヤフが飛行機がミサイルを発射して4人を殺害した」という垂れ幕があった。